

# 下水道事業特別会計

## 平成 26 年度 下水道事業特別会計

### 【概 要】

経理状況は、歳入 4,299,638,196 円、歳出 4,261,412,039 円、収支差引額は 38,226,157 円でした。

#### (1) 歳入内訳

受益者負担金は、235,339,342 円、使用料等の事業収入は 1,547,252,627 円、国庫補助金は 164,448,000 円、下水道事業債は、258,900,000 円、諸収入 92,003,162 円(うち流域下水道維持管理費精算返還金 81,510,311 円)、他会計及び建設基金からの繰入金は 1,975,446,000 円、財産収入は 2,674,234 円でした。

#### (2) 歳出内訳

下水道費 1,574,016,144 円のうち総務管理費は 324,578,858 円、下水道事業費 518,491,319 円、下水道維持管理費 730,945,967 円、下水道債償還となる公債費は 2,687,395,895 円でした。

### 2 下水道整備概要

(1) 下水道事業の整備面積は 3,077 ヘクタールで、うち犀川安曇野流域下水道関連安曇野処理区が 2,947 ヘクタール、公共下水道明科処理区は 130 ヘクタールとなっており、平成 26 年度の整備面積は 17.1 ヘクタールで下水道整備率は 83.3 パーセントになっています。

(2) 下水道への接続件数及び水洗化人口は安曇野処理区 66,018 人、明科処理区 3,766 人で水洗化率は 79.6 パーセントになっています。

### 3 下水道整備・普及状況

処理区名	全体計画面積	認可面積	供用面積	整備面積	整備率	管渠延長
豊科処理分区	974.9ha	974.9ha	942.7ha	942.7ha	96.7%	198.9km
穂高処理分区	1,578.0ha	1554.7ha	1,060.9ha	1,060.9ha	67.2%	277.4km
三郷処理分区	549.8ha	549.8ha	541.8ha	541.8ha	98.5%	142.8km
堀金処理分区	459.9ha	409.9ha	402.0ha	402.0ha	87.4%	96.3km
安曇野処理区計	3562.6ha	3489.3ha	2,947.4ha	2,947.4ha	82.7%	715.4km
明科処理区	130.0ha	130.0ha	130.0ha	130.0ha	100.0%	43.2km
合 計	3,692.6ha	3,619.3ha	3,077.4ha	3,077.4ha	83.3%	758.6km

処理区名	行政処理人口	処理人口	水洗化人口	普及率	水洗化率
豊科処理分区	27,711 人	27,602 人	23,451 人	99.6%	85.0%
穂高処理分区	33,896 人	27,430 人	19,062 人	80.9%	69.5%
三郷処理分区	18,720 人	18,561 人	15,993 人	99.2%	86.2%
堀金処理分区	9,360 人	9,332 人	7,512 人	99.7%	80.5%
安曇野処理区計	89,687 人	82,925 人	66,018 人	92.5%	79.6%
明科処理区	8,738 人	4,771 人	3,766 人	54.6%	78.9%
合 計	98,425 人	87,696 人	69,784 人	89.1%	79.6%

4 使用料（現年）

地 域 名	使用件数	汚水量	収入済額	収納率
豊科地域	9,269 件	2,839,163 m <sup>3</sup>	593,458,652 円	99.24%
穂高地域	7,740 件	2,077,200 m <sup>3</sup>	423,638,464 円	99.05%
三郷地域	5,297 件	1,443,890 m <sup>3</sup>	293,053,921 円	99.43%
堀金地域	2,629 件	744,279 m <sup>3</sup>	152,016,910 円	99.50%
明科地域	1,325 件	362,476 m <sup>3</sup>	74,203,105 円	99.71%
計	26,260 件	7,467,008 m <sup>3</sup>	1,536,371,052 円	99.27%

平成 26 年度不納欠損状況

平成 27 年 3 月 31 日

不納欠損事由	件 数（人）	金 額
地方税法第 15 条の 7（執行停止）	63 件	2,309,566 円

内訳：所在不明者 32 人 474,907 円

無財産者 27 人 1,549,003 円

生活困窮 3 人 1,890 円

滞納している法人が廃業し、事実上再開が認められないもの 1 名 231,935 円

（地方税法第 15 条の 7 第 5 項）

（地方税法第 15 条の 7 第 1 項）

平成 27 年度	
部	上下水道部
課	下水道課
係等	維持管理担当

決算書 ページ	356
------------	-----

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	一般管理費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100009	一般管理費		具体的な施策	下水道の整備

単位：円

予算現額	決算額(支出済額)	翌年度繰越額	不用額 - -	執行率 /
330,094,000	324,578,858	0	5,515,142	98.33%
特定財源の合計金額	左記の内訳	金額	金額	金額
254,725,000	下水道使用料現年分	254,211,000		
	下水道事業国庫補助金	448,000		
	その他雑入	66,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

- ・ 公共下水道関連施設（処理場、マンホールポンプ場、雨水ポンプ場、管渠等）の維持管理を（公財）長野県下水道公社に委託した。（H27～H28 債務負担行為）  
下水道処理施設等維持管理業務委託 委託料 86,339,725 円
- ・ 下水道施設の運転、故障等を遠隔監視するシステムの運用を委託。  
下水道施設等広域監視業務委託 委託料 3,582,360 円
- ・ 下水道管路施設をGISシステムで管理するため、H24 下水道本管整備箇所及び開発に伴う管路施設の台帳データ作成業務を委託。  
下水道台帳データ作成作業業務委託 委託料 12,744,000 円
- ・ 下水道事業会計を公営企業会計に移行するため、資産調査等の支援業務を委託。（H26～H27 債務負担行為）  
下水道事業企業会計移行業務委託 委託料 8,127,000 円
- ・ 公営企業会計システムの構築及び導入業務を委託。（H27 債務負担行為）  
公営企業会計システム導入業務委託 委託料 6,372,000 円
- ・ 下水道使用料徴収業務を水道会計で委託しているため、下水道使用料に係る経費の負担。  
負担金 56,200,000 円

### 上記の評価と課題等

下水道事業の地方公営企業法の適用に向けた支援業務委託により、管渠・処理場といった資産の調査を実施しました。また、平成 27 年度までの債務負担行為による企業会計システム導入業務委託で、サーバー等のハード機器を新本庁舎に導入し、平成 27 年度からのテストランに備えました。処理場をはじめとした下水道施設は施工から年数が経過したことから、修繕費等の維持管理経費の増大が見込まれますが、適正な運転管理により経費の節減を図ります。

平成 27 年度	
部	上下水道部
課	下水道課
係等	維持管理担当

決算書 ページ	358
------------	-----

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	2	下水道事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	5	受益者負担金徴収費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100180	受益者負担金徴収費		具体的な施策	下水道整備

単位：円

予算現額	決算額(支出済額)	翌年度繰越額	不用額 - -	執行率 /	
65,770,000	64,091,109	0	1,678,891	97.45%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
0					

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

下水道事業受益者負担金の公平・公正、適格な賦課及び徴収。  
受益者負担金・受益者分担金分担金

(1) 現年

地域名	賦課件数	収入済額	収納率
豊科地域	1,075 件	14,902,225	100%
穂高地域	5,636 件	134,072,670	94.80%
三郷地域	724 件	9,022,700	96.83%
堀金地域	352 件	4,081,900	95.13%
明科地域	13 件	451,980	100%
区域外	51 件	28,005,500	95.69%
計	7,851 件	190,536,975 円	95.43%

(2) 滞納繰越分については区域外を合わせて、44,802,367 円を徴収いたしました。

平成 26 年度不納欠損状況

平成 27 年 3 月 31 日

不納欠損事由	件数	金額
国税徴収法第 153 条及び 都市計画法第 75 条 7 項	42 名	10,949,141 円

生活困窮及び無財産また所在不明により、執行停止（地方税法第 15 条の 7 第 1 項）が行われており 3 年経過前に時効が到来したもの。 35 名 9,398,265 円

滞納者が死亡し相続放棄によるもの、また、法人が廃業し、事実上再開が見込めず、明らかに徴収の見込みがないもの。（地方税法第 15 条の 7 第 5 項） 6 名 1,229,276 円

5 年経過し時効が到来したもの 1 名 321,600 円

### 上記の評価と課題等

滞納繰越分の未収金を大幅に縮減することができました。

残る未収金 121,945,101 円について、時効管理を徹底し、早期に滞納処分をすることで、さらなる滞納額の縮減に努めます。

平成 27 年度	
部	上下水道部
課	下水道課
係等	維持管理担当

決算書 ページ	360
------------	-----

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	3	下水道維持管理費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	下水道維持管理費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100240	下水道維持管理費		具体的な施策	下水道の整備

単位：円

予算現額	決算額(支出済額)	翌年度繰越額	不用額 - -	執行率 /
732,137,000	729,350,381	0	2,786,619	99.62%

特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
729,350,381		下水道使用料	714,060,000		
		流域下水道維持管理精算返還金	13,034,381		
		その他雑入	2,256,000		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

・明科浄化センターで発生する脱水汚泥（脱水ケーキ）をセメント原料として再利用を図るため運搬及び処分をそれぞれ委託。

委託料 6,634,787 円

・マンホール周りの補修等維持工事を施工。 工事費 12,285,000 円

・長野県が管理運営している犀川安曇野市流域下水道に対し、処理場の維持管理に係る経費を負担。

負担金 709,129,512 円

### 上記の評価と課題等

明科浄化センターの維持管理を適切に行い発生する汚泥の減量に努めるとともに、脱水汚泥を有効利用するため、セメント原料として継続して処分を委託しています。

下水道は道路に埋設されていることから、交通安全に支障をきたさないよう適切な維持管理を継続します。

平成 27 年度	
部	上下水道部
課	下水道課
係等	維持管理担当

決算書 ページ	360
------------	-----

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	3	下水道維持管理費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	合併浄化槽維持管理費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100290	合併浄化槽維持管理費		具体的な施策	下水道の整備

単位：円

予算現額	決算額(支出済額)	翌年度繰越額	不用額 - -	執行率 /
1,917,000	1,595,586	0	321,414	83.23%
特定財源の合計金額	左記の内訳	金額	金額	金額
1,206,000		合併浄化槽使用料	1,206,000	

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

豊科大口沢地区に設置した合併処理浄化槽の維持管理を図った。

区分	事業費	事業内容
管理委託料	484,056 円	合併浄化槽保守点検
負担金	348,000 円	合併浄化槽維持管理負担金
手数料	711,450 円	合併浄化槽法定検査料・汚泥汲取り手数料
消耗品等	52,080 円	消毒液・フロア修理・原水ポンプ修理
合計	1,595,586 円	

### 上記の評価と課題等

設置から経年劣化によりフロア等の設備修繕の増加が予想されますが、適正な維持管理を継続します。

平成 27 年度	
部	上下水道部
課	下水道課
係等	維持管理担当

決算書 ページ	360
------------	-----

予算	款	2	公債費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	1	公債費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	元金		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100300	下水道事業債償還元金		具体的な施策	下水道の整備

単位：円

予算現額	決算額(支出済額)	翌年度繰越額	不用額 - -	執行率 /
1,912,331,000	1,912,259,231	0	71,769	99.99%
特定財源の合計金額	左記の内訳	金額	金額	金額
	公共下水道事業受益者負担金		区域外流入負担金	
	公共下水道事業受益者負担金滞納繰越分		区域外流入負担滞納繰越分	

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

下水道事業計画に基づき整備した施設の建設費に充当した下水道事業債の元金を償還。

### 上記の評価と課題等

本管整備が終盤となり借入額は減少していますが、今後数年は償還のピーク時期を迎えることから、一層の健全財政運営を図ります。



平成 27 年度	
部	上下水道部
課	下水道課
係等	維持管理担当

決算書 ページ	360
------------	-----

予算	款	2	公債費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	1	公債費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	利子		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100320	下水道事業債償還 利子		具体的な施策	下水道の整備

単位：円

予算現額	決算額(支出済額)	翌年度繰越額	不用額 - -	執行率 /	
775,223,000	775,136,664	0	86,336	99.99%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
		下水道使用料			

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

下水道事業計画に基づき整備した施設の建設費に充当した下水道事業債の利子を償還した。

### 上記の評価と課題等

本管整備が終盤となり借入額は減少しているが、今後数年は償還のピーク時期を迎えることから、一層の健全財政運営を図る。

平成 27 年度	
部	上下水道部
課	下水道課
係等	維持管理担当

決算書 ページ	360
------------	-----

予算	款	2	公債費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	1	公債費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	利子		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100340	一時借入金利子		具体的な施策	下水道整備

単位：円

予算現額	決算額(支出済額)	翌年度繰越額	不用額 - -	執行率 /
600,000	0	0	600,000	0%
特定財源の合計金額	左記の内訳	金額	金額	金額
0				

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

一時借り入れの実績なし。

### 上記の評価と課題等

平成 27 年度	
部	上下水道部
課	下水道課
係等	維持管理担当

決算書 ページ	362
------------	-----

予算	款	3	予備費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	1	予備費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	予備費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100350	予備費		具体的な施策	下水道整備

単位：円

予算現額	決算額(支出済額)	翌年度繰越額	不用額 - -	執行率 /	
4,500,000	0		4,500,000	0.0%	
特定財源の合計金額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

予備費支出実績なし。

### 上記の評価と課題等

平成 27 年度	
部	上下水道部
課	下水道課
係等	下水道整備担当

決算書 ページ	356
------------	-----

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	2	下水道事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	国庫補助事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100060	国庫補助事業費		具体的な施策	下水道の整備

単位：円

予算現額	決算額(支出済額)	翌年度繰越額	不用額 - -	執行率 /
95,000,000	94,817,600	0	182,400	99.81%
特定財源の合計金額	左記の内訳	金額	金額	金額
94,817,600	下水道事業国庫補助金	47,400,000		
	下水道事業債	42,600,000		
	公共下水道事業受益者負担金	4,817,600		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

穂高牧及び穂高北穂高の下水道管渠整備

工事請負費 61,992,000 円 管渠 L=576m 舗装復旧 A=5,410 m<sup>2</sup>  
マンホールポンプ場 1 箇所

委託料 6,825,600 円 管渠詳細設計 L=679m

建設負担金 26,000,000 円 道路管理者に支出する舗装本復旧負担金

### 上記の評価と課題等

下水道整備も終盤を迎え順次事業効果が発現しております。  
平成 30 年度整備完了を目途に事業執行を図っていきます。

平成 27 年度	
部	上下水道部
課	下水道課
係等	下水道整備担当

決算書 ページ	358
------------	-----

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	2	下水道事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	特定環境保全事業		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100110	特定環境保全事業		具体的な施策	下水道の整備

単位：円

予算現額	決算額(支出済額)	翌年度繰越額	不用額 - -	執行率 /
234,000,000	233,536,920	0	463,080	99.80%
特定財源の合計金額	左記の内訳	金額	金額	金額
233,536,920	特定環境保全公共下水道事業補助金	116,600,000		
	下水道事業債	104,900,000		
	公共下水道事業受益者負担金	12,036,920		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

穂高有明及び穂高牧の下水道管渠整備

工事請負費 211,565,520 円 管渠 L=2,286m 舗装普及 A=5,081 m<sup>2</sup>  
マンホールポンプ場 5 箇所

委託料 6,971,400 円 管渠工事施工監理業務 2 工区  
管渠詳細設計 L=260m

建設負担金 15,000,000 円 道路管理者に支出する舗装本復旧負担金

### 上記の評価と課題等

下水道整備も終盤を迎え順次事業効果が発現しております。  
平成 30 年度整備完了を目標に事業執行を図っていきます。

平成 27 年度	
部	上下水道部
課	下水道課
係等	下水道整備担当

決算書 ページ	358
------------	-----

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	2	下水道事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	3	市単独事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100120	市単独事業費		具体的な施策	下水道の整備

単位：円

予算現額	決算額(支出済額)	翌年度繰越額	不用額 - -	執行率 /
120,642,000	106,065,890	13,000,000	1,576,110	87.92%
特定財源の合計金額	左記の内訳	金額	金額	金額
106,065,890	下水道事業債	93,600,000		
	公共下水道事業受益者負担金	3,243,770		
	下水道管移設に伴う補償料	9,222,120		

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

汚水量が基準に達していないため交付金事業対象にならない末端管渠等の整備

工事請負費 88,231,080 円 管渠 L=850m 舗装復旧 A=3,358 m<sup>2</sup>  
マンホールポンプ場 3 箇所

委託料 4,739,040 円 管渠詳細設計 L=816m 管渠工事施工監理業務 1 工区

建設負担金 5,500,000 円 道路管理者に支出する舗装本復旧負担金

補償金 7,595,770 円 下水道工事に伴う上水道管移転補償

### 上記の評価と課題等

下水道整備も終盤を迎え順次事業効果が発現しております。  
宅地点在り地については合併処理浄化槽補助事業と連携し、効率的な汚水処理を検討します。

平成 27 年度	
部	上下水道部
課	下水道課
係等	下水道整備担当

決算書 ページ	358
------------	-----

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境にやさしいまちの形成
	項	2	下水道事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	4	流域下水道事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100170	流域下水道事業費		具体的な施策	下水道の整備

単位：円

予算現額	決算額(支出済額)	翌年度繰越額	不用額 - -	執行率 /
20,000,000	19,979,800	0	20,200	99.90%
特定財源の合計金額		金額	金額	金額
19,979,800	左記の内訳	下水道事業債	17,800,000	
		公共下水道事業受益者負担金	2,179,800	

### 主要な施策（事務事業）の成果の概要

長野県が事業主体となり実施している犀川安曇野流域下水道事業の汚水処理施設建設費の一部を建設負担金として支出した。

建設負担金 19,979,800 円 水処理第 5 系列覆蓋工事、中央監視制御装置改築の詳細設計

### 上記の評価と課題等

今後も流域下水道事業計画に基づき建設負担金を支出します。